

2019-2020 ガバナー月信 GOVERNOR'S Monthly Letter

8



写真：留萌最大のイベント「るもい呑涛まつり」(留萌ロータリークラブ提供)

「るもい呑涛(どんとう)まつり」

留萌を中心にした日本海は、かつてニシン漁が盛んであった。留萌市はニシン漁黄金時代の漁師が「時化でも嵐でもドンと来い、すべてを飲み尽くしてやる」との心意気から「るもい呑涛(どんとう)まつり」が始まり、今年で30回目を迎えた。

留萌ロータリークラブは、地域に根ざした活動の一環として会員手作りの大型行燈を引き、沿道の子どもたちにポリオ撲滅のラベルを貼ったお菓子を配った。

2019.7.27 (写真提供：留萌RC)



ロータリーは
世界をつなぐ

国際ロータリー第2510地区 2019～2020年度ガバナー 福田武男

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com http://rid2510.org

2019-2020年度国際ロータリーのテーマ 「ロータリーは世界をつなぐ」



国際ロータリー第2510地区 2019-2020年度地区目標

—自分を見つめ直し、若者を支援し、ロータリーの未来を語ろう—

1. みんなで手をとり合ってクラブを強化しよう

- ① 既存会員の維持と、地域の職業分類を調査・活用して更なる会員増強を推進し、クラブ会員の後継者を含めた若者たちへ向けて「ロータリー衛星クラブ」の設立を推奨し、ロータリーを成長させる。
- ② 女性会員や40歳未満の会員の入会を特に推進し、RAC全国研修会に向けてRACの拡大・増強を支援する。
- ③ ロータリー理解推進のため「ガバナー月信」を充実させ、ホームページをアップグレードし、「世界を変える行動人」キャンペーンを促進し、広報活動を推進する。

2. ロータリー財団へ寄付推進し、フルに活用しよう

- ① ロータリー財団への寄付を推進すると共に、クラブでは本年度特別に使用できる分も含めてDDFを十分に活用し、グローバル補助金も視野に地域社会および海外でのプロジェクトが増加するよう支援する。
- ② 「世界ポリオデー」には、世界のポリオ撲滅でWHOなどと共にロータリーが果たしている役割を広く地域に伝えるよう各クラブに奨励する。
- ③ 財団への年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、恒久基金においても2025年までに20億2500万ドルへ成長するよう支援していく。

3. ローターアクターなど若者や新会員を支援しよう

- ① クラブに入会して5年以内の会員を対象に「新会員交流会」を開催し、ロータリーへの理解を深めてもらう。
- ② 米山記念奨学会への寄付の増進を図ると共に、この制度が地区内すべてのクラブにより一層理解され、また奨学生が卒業後日本との架け橋になれるように支援する。
- ③ クラブには「クラブ研修リーダー」の設置を奨励するとともに、積極的にロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) セミナーに参加してもらい、RLIセミナーがこれからの「ロータリーの学びの場」となるよう認識を広めていく。

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●ロータリーの本	19
●小山 司 直前ガバナーへの感謝の言葉	2	●ロータリーコーディネーターNEWS	20
●会員増強特別月間にあたり	3	●ハイライトよねやま	21
●就任挨拶	4	●わかりやすい職業奉仕のために「ロータリーを学ぶQ&A」	23
●2019-2020年度 地区委員会活動計画書	5	●地区大会のご案内	24
●2022-2023年度 ガバナー/ノミネー候補者推薦のお願い	15	●新会員合宿セミナーin丸駒	25
●ガバナー公式訪問報告	16	●地区カレンダー(8月・9月)/ロータリーレート	26
●新会員のご紹介	18	●職業奉仕小話/ポール・ハリス語録	27



共に「奉仕の道」を歩まれている 会長・幹事、そして会員のみなさま

国際ロータリー第2510地区

2019—2020年度ガバナー **福田 武男**
(千歳RC)

会長、幹事、そして会員のみなさま、新年度が始まり一ヶ月が経ちよいよ今年度の活動計画を積極的に実行に移し始めていることと思います。

私も深川・妹背牛RC合同のガバナー公式訪問を皮切りに、留萌、羽幌と立て続けに訪問して第1グループを終了し、第2週は江別西、栗沢、苫小牧東、先週は第10・11グループの蘭越、江差、七飯、森、北斗と、12クラブの公式訪問を終えたところです。

今年度のガバナー公式訪問は公共交通機関を利用と決めましたので、訪問させていただくクラブによってはサポートして頂いている各ガバナー補佐のみなさんにはたいへんご苦勞をおかけしております。加藤ガバナー補佐、伊澤ガバナー補佐、橘ガバナー補佐、笈川ガバナー補佐、成田ガバナー補佐、水野ガバナー補佐、みなさん有難うございました。それにしても東京ロータリークラブ100周年を祝って作製された『鐘』を、私が「運び屋」をやっておりますが、予想よりもかなり重いのでびっくりしました。

さて8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。

マローニーRI会長は1月サンディエゴの国際協議会で要請しておられます。

さまざまな経歴を持ったメンバーで構成される、活発な会員増強委員会を各クラブに作ることを。そして昔からあった「職業分類制度」を113年振りに活用し、地域の職業を再度見直して会員増強に役

立てて欲しいとの要請がありました。

みなさん、もう一度、クラブの職業分類表を見直し、特に昔はクラブに所属していたが現在は入っていない職種の会員がいないかなどを確認して下さい。

そしてマローニー会長は、「毎年10万人の会員が入会するが10万人の会員が退会している。これでは穴だらけのバケツに水を注ぐようなものです」と言っており、よって『違った形』で会員増強に取り組んで欲しいと要請しております。

違った形とは、我が地区では「衛星クラブ(サテライトクラブ)」が相応しいと思います。『岩見沢ネクスト衛星ロータリークラブ』が前年度に創立されました。

このサテライトクラブというのは、ロータリークラブの会員のご子息など、将来、会社を継承していく若い人たちと彼らの親しい仲間たち8人以上を集めてクラブを作るものです。

そして親クラブの会員ではありますが、子クラブとして全く別の場所で若者だけで例会や奉仕活動をするのです。将来、親が退会したらサテライトから本クラブの会員に移籍(?)します。これで親も安心、子も安心ではないでしょうか。若者や女性の入会を勧めることも、このサテライトクラブである程度解決できるものと思います。

我が地区では今春、岩見沢ロータリークラブが『岩見沢ネクスト衛星ロータリークラブ』設立の立

役者であり地区拡大委員長でもあり、第1ゾーン・ロータリー公共イメージコーディネーター補佐でもある嵯峨義輝PGが岩見沢ロータリークラブにおりますので、是非、今年度の各クラブの会員増強活動に向けて、今年度から初めて3年委員会となった地

区増強委員会の武部實委員長(PG)とともに、各クラブの例会卓話にお呼びして頂きたいと思います。

サテライトクラブを各地域に一つという気持ちで会員増強を推進し、ロータリーを更に成長させましょう。

小山 司 直前ガバナーへの感謝の言葉

ガバナー **福田 武男** (千歳RC)

2018-19年度 RI第2510地区 小山 司ガバナーにおかれましては、前年度、地区内のさまざまな会合に積極的に足を運ばれ、ガバナーとしての1年間を精力的に、そしてたいへん成功裏にお務めいただきました。

誰から見ても小山PGはいつも紳士然としていてとてものおんびり屋さんのように見え、私も小山PGの後ろ姿を見ながら余り焦ることもなく、安心してのおんびりとした研修を続けておりましたが、2018年1月の国際協議会から帰ってからは別人の如く各地区の研修事業をそつなくこなされ、その後の69クラブ公式訪問などあつという間に1年間の活動を終えられてしまいました。

何度かの地区行事が終える度に、小山PGの表情が重荷を降ろしていくが如くどんどん明るくなっていくのを拝見しながら、その降ろされた重荷が一個ずつ私の肩にのしかかって来るのだと思うと大変な重圧を感じたものでありました。

しかし小山PGの素晴らしい人柄に触れながら一緒に過ごさせていただいた楽しい時間は、私の貴重な思い出となりました。

これからは大好きなウィスキー(?)を傾けながら長年の疲れを癒していただき、また時期が来ましたら地区内の後進の指導にあたっていただくことを期待しております。1年間たいへんお疲れさまでした。



会員増強特別月間にあたり

地区会員増強委員会

委員長 **武部 實**
(札幌南RC・PG)

会員増強の基本は入会の勧めです。勧誘活動無くして会員増強はありません。

入会勧誘資料一式を常に整備しておくことが重要です。

クラブには地域の人口、産業、会員数等に違いありロータリークラブはこうあるべきとの定義はないが、各クラブの特徴を整理した入会勧誘資料の整備が重要だと思います。入会勧誘資料の整備は、入会3年未満の会員でも会員増強活動に参加が可能になります。若い会員が若い人を誘うことにより、クラブの活性化が期待できます。

入会勧誘資料に必要な事項

ロータリーとはどのような団体なのか(端的に言えば、奉仕の心を持つ人達の集まりです。)地域に対する支援はもとより、地域及び世界中の恵まれない人たちを支援する組織であって、会員一人一人の支援は小さいけれど単位クラブのロータリアンが、更には世界中のロータリアンがまると、大きな支援になります。それがロータリークラブだと思います。

年会費の詳細・寄付行為について十分な説明が重要です。

年会費細目を提示し、財団寄付・米山記念奨学事業寄付・ポリオ撲滅活動寄付の説明も重要です。ロータリー活動は、寄付によって運営されているのです。

自分のクラブに満足しているか?

在席会員が、自分のクラブをどの様に評価しているのかが、最も重要だと思います。自分のクラブに満足せずして、勧誘はできません。

クラブには地域の人口、産業、会員数等に違いがあり、ロータリークラブはこうあるべきと言う定義はありません。しかし、まずクラブの現状をよく分析する事が重要だと思います。

*クラブが会員数に見合った、活性化が期待できる、組織になっているかどうか。

*青少年プログラム、奉仕プログラム等が、地域から喜ばれているかどうか。

*一部の人間に対する奉仕活動、あるいは自己満足的奉仕活動に終わってはいないか。

等々、これらのことを十分、分析し見直して、地域と共に奉仕活動を行うことによって、ロータリーの「公共イメージと、認知度の向上」に務め、会員増強に繋げていかなければなりません。

ロータリーの理念を語るのではなく、夫々の地域の将来を語る事が大切。

何故ならロータリー感人は人それぞれに違いがあるからです。会員増強にロータリー理論は不要です。

地方中核都市中心的名門クラブは解りやすい

お金持ち、偉い人、ステータス、有力企業支社長・支店長の勧誘は大いに結構、サロンの役割はとても重要です。また、やんちゃな若者を仲間に入れることによる活性化が重要です。

最近増えている飲食系女性会員について

飲食系だって大いに結構です。ローカルの街にスナック・バー・クラブ等が無くなるとその街は寂れていくと思います。飲食業のママさんたちは、一生懸命街を支えているのです。

会員増強委員会

顔の広い有力者を会員増強委員長にするのは間違いです。有力者の年代の友人達は午後8時・9時には寝ているのです。30・40・50代の若い世代に期待をし、彼らの友人、知人の入会がクラブの若返りと活性化につながると思います。それには入会条件の厳しい垣根を取り省き、やんちゃな青年達に目を向けるべきです。問題意識を持っているからこそ、やんちゃに見えるのです。やんちゃでなければ活性化は期待できないと思います。

地域と共に

ロータリアンは、お金持ち、偉い人、ステータスではありません。夫々の地域と共に活動する仲間達でなければロータリークラブは理解されないとします。

財団を通じたグローバルな、世界への奉仕活動も大切ですが、主催者である必要もなく、与える活動でもなく、地域の活動に参加し、地域と共に活動することによってロータリーの意義とロータリーの存在を知って頂き、会員増強に繋げることを期待致します。

就任挨拶



「地区とクラブの研修について」

2019-2020年度

地区研修リーダー

安孫子 建雄

(江別RC・PG)

私は2019-20年度地区研修リーダーを引き受けました。

ロータリーについて不勉強な私には意外と荷が重く、ガバナーと連携し、お手伝いをしているところです。ロータリーにおいて研修は何をするのでしょうか？ ロータリーの生き立ち、成り立ちを知り目指すところは何か理解し共鳴し、仲間とともに行動するのです。仲間と会って行動することが知識や技能を得ることにつながり、啓発されて成長していくのです。「ロータリーに入りて学び、出でて奉仕せよ」と言われますが、私はこの言葉が好きです。例会の進行は一番の研修機会と言えるのではないのでしょうか。

さてロータリーにおいて様々な勉強の機会や方法があります。

今はないと思いますが新入会員に「ロータリーのことはそのうち分るよ…」と先輩から言われることがありました。でもそれではいけません。はやくロータリーを理解し行動できるメンバーになってほしいと思います。

現在、RIのHPからは「マイロータリー」を通してさまざまなニュースとともに研修に類するプログラムがたくさん見ることができます。年配の方は「私はペーパーでなければだめだよ」と言われますからクラブでは、それなりに資料を用意しなければなりません。デジタルに慣れた会員はマイロータリーへ登録し中を覗いてみてください。きっとロータリーの世界が広がります。「ロータリーはインターナショナルです」というのは理解していると同時に、世界の中で日本は何ができるのか？ 私たちの日常で世界と関わることがあるのか？ などまだまだ私たちは日本の、地域の、自分たちのクラブのことで終わっているのではないのでしょうか。

地域や地方が継続していけるためにロータリーメンバーのパワーアップが必要です。そのための研修です。地区はもちろんクラブにおいて「なぜロータリーなの？」「ロータリアンって何」それはだれとでも遠慮せずに交流できることです。世界中のたくさんさんのクラブのたくさんさんのロータリアンとです。



地区ロータリー財団委員長就任挨拶

2019-2020年度

地区ロータリー財団委員長

熊澤 隆樹

(小樽RC・PG)

今年度から遠藤PG・丸山PGの後を引き継いで三年間の任期を務めることになりました小樽RCの熊澤隆樹です。寄付推進(これが一番の仕事)や財団補助金活動をガバナーの指揮のもと四つの小委員会と協力して財団活動の計画調整を行ってまいります。ご存知の通り、ロータリー財団の使命は『ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにする』ことです。この財団は、1917年、国際大会において、RI会長アーチC・クランフが「世界でよいことをしよう」のための基金の設立を提案、最初の寄付は26ドル50セントが基金に寄せられスタートしました。そして財団初のプログラムは1947年に始まった「高等教育のためのロータリー財団奨学金」でした。今では、ロータリー財団の資金は国際ロータリーの資金の5倍位になり、素晴らしい奉仕活動を展開しております。当地区でも、地区補助金を使った社会奉仕プロジェクトが各クラブで活発に行われておりますが、地区財団委員会はこれまで以上に各クラブへの支援・協力をしてまいります。どうか、寄付推進と共に地区補助金をご利用下されることを願ってご挨拶いたします。

2019-2020年度 地区委員会活動計画書



委員長
武部 實
(札幌南RC・PG)

地区会員増強委員会

1. 活動方針

- 1) 福田年度の地区目標をサポートする。
 - (1) 地域の職業分類を調査し更なる会員増強を推進する。
 - (2) クラブ会員の後継者を含めた若者達へ向けて「衛星クラブ」の設立を奨励支援する。
 - (3) 女性会員や40歳未満の会員の入会を特に推進支援する。
 - (4) 5年以内の会員を対象にした「新会員研修会」開催を支援する。
- 2) 各クラブの入会勧誘資料作成へのアドバイス
各クラブの特徴を整理した入会勧誘資料の整備が重要です。入会勧誘資料があれば、入会3年未満の会員であっても、会員増強活動に参加する事が出来ます。若い会員が若い人を誘うことにより、クラブの活性化が期待できると思います。
- 3) マスコミ活用による公共イメージ向上

3年間にわたり、財界さっぽろで、毎月2ページにわたり、ロータリー活動を無料で取り上げて頂きました。地方のロータリークラブの様々な奉仕活動を、2510地区の会員に知って頂く。

更には道民の皆さんに、ロータリーを理解して頂く、そんな想いでロータリアンで財界さっぽろの舟本社長に、お願いをして実現した企画です。地区内70全てのクラブの、奉仕活動を紹介致しました。地区広報委員会等と協力し、全クラブの奉仕活動を小冊子にまとめ、会員増強に役立てたいと思います。

2. 活動計画

- 1) 2019年7月21日(日) 地区会員増強セミナーの開催
- 2) 2019年11月 新会員研修会開催の協力
- 3) 地区会員増強委員のガバナー補佐の皆さんと協力し、各クラブの支援を行う。
- 4) 各クラブの優れた会員増強活動を調査し、各クラブに紹介する。



委員長
國立 金助
(函館RC・PG)

地区RI国際大会推進委員会

1. 活動方針

- 1) 2019-2020年度の国際大会は、アメリカ ハワイ州オアフ島のホノルルで2020年6月6日～6月10日の日程で開催されます。国際ロータリーの基本的方針の確認。
- 2) 世界のロータリアンとの交流。
- 3) 2020年6月7日 福田武男ガバナー、地区役員及び委員、参加ロータリアンの慰労会的北海道ナイトをハレクラニのハウテラスで開催を予定しています。

2. 活動計画

- 1) 諸々の会合で国際大会をPRする。
- 2) ガバナー月信を通じて周知、参加登録の推進を図るとともに、地区広報・ICT委員会と連携し地区ホームページを通して大会への参加登録を推進する。
- 3) ハワイ州は、アメリカ合衆国の州であり、8つの島と100以上の小島で構成されている。州都は、オアフ島のホノルル市である。
太平洋の中央に位置し、自然の多様な景観、暖かい熱帯性気候、および活火山の活動があることで、観光客、サーファー、生物学者、火山学者などに人気がある所で独特の文化がある他に太平洋の中心にあることで、北アメリカやアジアの影響も多く受けている。130万人を超える人口の他に常に観光客やアメリカ軍の軍事関係者が滞在している。
一人でも家族でも参加して楽しめるプランを提案したいと考えています。



委員長

嵯峨 義輝

(岩見沢RC・PG)

地区拡大委員会

1. 活動方針

地区拡大委員会は、地区ガバナーと協力して新クラブを設立できる地域を特定し、新クラブの設立を支援します。

昨年度札幌南ライラックロータリー衛星クラブから、札幌ライラックRCが発足しました。このような新たな芽吹きを発掘を継続していきます。

又、ガバナーが強く指向しています衛星クラブ設立へ向け対策を実施いたします。

2. 活動計画

- 1) 現在クラブがなく、新クラブ設立の条件を満たす地域があるか探査する。
- 2) 既存クラブがあっても、新クラブ設立余地のある地域があるか調査する。
- 3) 衛星クラブ設立を支援する。
- 4) Eクラブについて情報収集をする。
- 5) 新形態のクラブの調査・研究を行う。



委員長

渡邊 恭久

(滝川IRC・PG)

地区立法案検討委員会

1. 活動方針

RIとクラブとのルートがお互いの理解に基づきスムーズになるように、立法案の提出などを提案していく。

2. 活動計画

毎年6月末締切の決議案、3年に一度の規定審議会に提案できる制定案、規定案の提出を促進するよう働きかける。



委員長

渡邊 葉子

(札幌西北RC)

地区RLI委員会

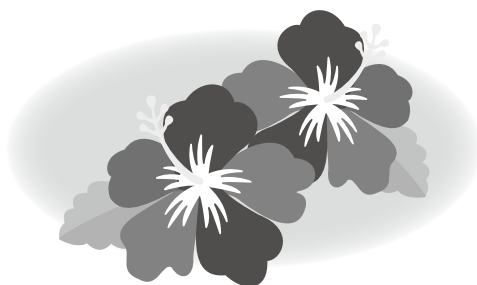
1. 活動方針

第2510地区目標の1つに「みんなで手を取り合ってクラブを強化しよう」は、RLIの目的である【ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養しクラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化すること】と合致する。RLIセミナー開催により各クラブの活性化に貢献する。

新ディスカッションリーダーの育成を行う。現ディスカッションリーダーのブラッシュアップを行う。

2. 活動計画

- 1) 年3回のセミナー開催
- 2) ディスカッションリーダー ブラッシュアップ研修の実施
- 3) 新ディスカッションリーダーの育成





委員長
石川 信行
(札幌手稲RC)

地区文献資料室

1. 活動方針

文献資料室を各クラブがより利用しやすい環境を提供するとともに、新たな文献・資料の収集方法を検討する。

そのために貸出リストを整備するとともに、ガバナー月信を利用して情報発信を行う。

2. 活動計画

- 1) ガバナー月信への寄稿（通年）
- 2) 貸出リストの整備、資料購入検討（4カ月に1回程度）



委員長
前田 浩人
(苫小牧RC)

地区学友委員会

1. 活動方針

1. 青少年交換、インターアクト、RYLA学友の名簿整理等組織化の推進する。
2. 財団学友や米山学友、ロータクト学友相互の交流、並びに上記OBとの交流を推進し、お互いの活動についての理解を深める。
3. それぞれの学友活動に対して支援・協力する。
4. 学友のロータリー活動への参加を推進する。
5. 学友に対するロータリアンの理解向上のための活動を推進する。
6. 学友とロータリーをつなぎ、ロータリアンとなることを推進する。

2. 活動計画

1. 学友委員会を定期的に開催する。
2. 学友全てが集まる「学友体験・帰国報告会」を開催し、学友相互の親睦と理解を図る。
3. 学友会ニューズレターを発行する。
4. 学友に対し第2510地区大会へのブース等の参加とクラブ例会での卓話を推進する。
5. 日本ロータリー学友会札幌大会を支援及び交流を推進する。
6. RYLAセミナーに協力する。
7. 財団学友会と米山学友会とロータクト学友会の活動を支援する。
8. 財団奨学生のオリエンテーションへの協力を推進する。
9. 学友に対し、MY ROTARYのアカウント登録を促し、共通の名刺作成を推進することにより学友間の連帯を醸成する



委員長
岡崎 芳明
(小樽南RC)

地区クラブ奉仕委員会

1. 活動方針

- 1) 各ロータリークラブが更にクラブ内の親睦を深めて、力強い有意義なロータリーライフを送る事が出来る様にサポートをしていく。
- 2) クラブ奉仕活動プログラム行う為にはクラブの会員増強が必要である事を啓蒙し、会員増強の為のサポートをしていく。

2. 活動計画

- 1) 各ロータリークラブに過去や現在行っているクラブ奉仕活動情報を提出して貰う。
- 2) 各クラブの行っている魅力的なクラブ奉仕活動を地区広報・ICT委員会や地区ロータリー情報委員会と共同で広報していく。
- 3) アンケートを行い現在の地区内RCの情報を得る。
- 4) 地区内行事においてRLI委員会にも協力をして頂く事も検討する。
- 5) 適宜クラブ奉仕委員会を開催し地区内の情報を共有する。



委員長

武蔵輝彦

(岩見沢RC)

地区広報・ICT委員会

1. 活動方針

- 1) 効果的なロータリー広報のあり方の調査・検討
- 2) 各クラブ広報活動との連携、取りまとめ、サポート体制の構築
- 3) マスコミと連携したロータリー広報活動の展開
- 4) 「My Rotary」登録推進へのサポート
- 5) 地区ホームページの充実

2. 活動計画

- 1) ロータリーを多くの人に知ってもらう事が活動の飛躍と理解者、協力者を増やすことにつながり、さらには会員増強にも結びついていきます。各クラブや地区内委員会との情報を共有し、より効果的な広報のあり方を模索し、実践してまいります。
- 2) ICT関連では毎年「My Rotary」への理解と登録の推進のためにクラブへのサポートを行ってきました。しかしながらまだまだ十分といえる登録状況ではありません。各ロータリアンが「My Rotary」に登録することによりクラブ戦略計画、ロータリークラブセントラルがより有効に機能することも訴えながら引き続き登録の推進に向け活動してまいります。
- 3) 最後に地区ホームページについては各委員会・クラブとの連携を図り、情報収集に努め、見やすさや掲載内容の充実を図るとともに、地区幹事と連携しレスポンスデザインを取り入れた、リニューアルに向けて検討してまいります。
各クラブ会長をはじめ地区内全てのロータリアンの皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



委員長

堀元雅司

(札幌南RC)

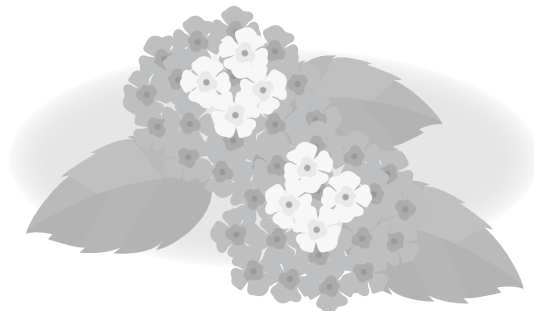
地区ロータリー情報委員会

1. 活動方針

- 1) 前年同様、各クラブの有意義な情報を地区全体で共有利用できるように発信する。
- 2) 前年度立ち上げた第2510地区限定のFacebookのグループを利用して情報発信をする。広報・ICT委員会と連携して進めさせて頂きたい。
- 3) 第2510地区内の各クラブでの取り組みなどを吸い上げて情報として共有できるようにする。

2. 活動計画

- 1) 各クラブの有意義な情報を地区全体で共有できる情報発信方法を考え各クラブが知りたい情報を発信できるように進めていきたい。
まずは、何が知りたい情報なのかを知る事からはじめたい。
- 2) 国際ロータリーでも推奨するFacebookのグループなどのSNSも利用を増やしたい。
広報・ICT委員会と連携して進めさせてもらう。
- 3) 各クラブの取り組みを吸い上げる方法をどのようにするか。アンケートも行っていきたい。





委員長
坂井 治
(千歳セントラルRC)

地区職業奉仕委員会

1. 活動方針

マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー2019-2020年度会長テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」、国際ロータリー第2510地区2019-2020年度福田武男ガバナーの「自分を見つめ直し、若者を支援し、ロータリーの未来を語ろう」という地区目標のもと活動をしてまいります。

福田ガバナーは難しく考えずシンプルに考えて委員会運営をとのことでしたので各クラブの職業奉仕委員長がクラブで何をしたらいいのかと言うことが明確になるように具体的に進めていきたいと考えます。

国際ロータリーの考え方と日本のロータリーの考え方の違いなどもあるようです。

クラブ内でも議論していただけるような資料を委員会から提供することで今後の委員会活動に役立てていただきたいと思います。

また各クラブに対する支援も行います。

各クラブに依頼して事例を集めクラブにフィードバックします。

2. 活動計画

- 1) クラブの必要に応じて資料の提供などの支援をします。
- 2) 卓話等の要請に可能な限りこたえます。
- 3) ガバナー補佐と連携して各クラブの現状分析や要望などの情報を収集し、可能な支援を行います。
- 4) 各クラブの実践事例をアンケート調査をして冊子にして配布します。
- 5) 委員会内の勉強会を開催し、委員会メンバーのスキルアップを図ります。



委員長
高山 和宏
(札幌東RC)

地区社会奉仕委員会

1. 活動方針

ロータリークラブの社会奉仕活動は、各クラブの主體的な活動が基本であります。地区社会奉仕委員会としては、クラブの社会奉仕活動の情報を把握し、情報を共有することで、クラブが抱えている課題や悩み等の解決のための支援や新しい奉仕活動をスタートさせるための情報提供を積極的に行っていくことにより、クラブの社会奉仕活動をサポートします。

支援が必要なクラブがある場合、ガバナーやガバナー補佐とも連携し、クラブの社会奉仕活動の充実に寄与するよう、クラブとの連携を図ります。

また、地区に寄せられた昨年9月に発生した北海道胆振東部地震被災地への支援金の有効的な活用方法を検討し、各クラブと連携し、奉仕活動を実践します。

2. 活動計画

- 1) 新たな地区委員を公募し、地区委員会の活動の充実を図る。
- 2) 各クラブの奉仕活動の現状を把握し、必要に応じて情報交換、情報提供を行い、クラブとの連携を図ることにより、新しい奉仕活動スタートのきっかけづくりを行う。
- 3) 財団委員会と連携し、地区補助金制度を活用した奉仕活動を奨励する。(特に会員数の比較的少ないクラブを重点的に)
- 4) 地区に寄せられた胆振東部地震の支援金の有効的な活用方法を検討し、各クラブと連携して奉仕活動を実践する。
- 5) 積極的に各クラブの奉仕活動に参加・訪問し、その奉仕活動の現状を現場で体験することで、地区内で行われている奉仕活動を正確に把握し、他クラブへの事例紹介や今後のサポートに活用する。
- 6) 前々年度事業の「120万本の植樹事業」で行った当別町・道民の森での植樹で、植樹後5年間義務付けられている苗木の保育(下草刈り)を年2回・造園業者の協力のもと、実施する。



委員長
谷口正樹
(滝川IRC)

国際奉仕・VTT委員会

1. 活動方針

第2510地区各クラブの皆様へ、地区国際奉仕・VTT委員会の活動を理解していただき、国際奉仕事業へ参加していただけるようにサポートする。地区事業として「職業訓練事業」をタイ第3340地区ノンカイの職業訓練校において展開する。

また国際奉仕事業・VTT事業には地区ロータリー財団等との連携をとるものとする。

2. 活動計画

1) 国際奉仕事業の実施

各クラブに、支援国の実情に応じたモデルプランを提供し、国際奉仕事業をお願いする。

また、国際奉仕活動には、各クラブからの支援を中心に地区ロータリー財団やほかの地区各委員会の協力を得て、事業をスムーズに展開する。

さらに、事業検証ツアーを実施し、事業の実施状況を確認するとともに相手国ロータリークラブとの友好を図り、長年築いてきた絆をさらに強いものとし、将来の展望を協議していくものとする。

2) 職業訓練奉仕事業（VTT事業）の実施

昨年度来展開しているタイ国第3340地区ノンカイにおいての職業訓練奉仕事業をさらに展開し、そして検証することによって目的を達成していく。

3) 国際奉仕事業の啓蒙

卓話、ロータリー雑誌、地区行事、ホームページ等にて地区国際奉仕事業・VTT事業を紹介し、多くの会員に理解そして賛同を得ていくものとする。



委員長
山口史朗
(札幌東RC)

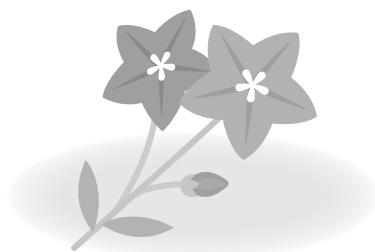
青少年奉仕委員会

1. 活動方針

- 1) 各クラブの青少年奉仕活動支援（情報提供・企画運営補助・コーディネート）
- 2) 青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLAの各委員会との連携と情報交換
- 3) 常設プログラムの各クラブへの理解浸透と導入を目指した広報・PR・支援活動
- 4) 地区行事への協力と青少年の参加促進

2. 活動計画

- 1) 青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLAの各委員会の活動計画・行事予定の調整と共有
- 2) 各委員会プログラム及び行事への協力と参加促進
- 3) ROTEXなど学友把握と組織化の支援
- 4) 各クラブの青少年奉仕事業についての地区補助金申請サポート
- 5) 危機管理委員会との連携による青少年保護の徹底
- 6) 各クラブからの要望・要請に対する対応体制強化
- 7) 各クラブの青少年奉仕事業の把握と好取組事例の情報提供
- 8) インターアクト、ローターアクト新設の取組に対する支援
- 9) 青少年交換支援のグループ基金の拡充・拡大
- 10) 委員会の開催





委員長
望月陽介
(札幌西北RC)

地区青少年交換委員会

1. 活動方針

- 1) 派遣候補生、受入学生、ROTEXが意義ある活動ができる場を提供する。
- 2) 参加学生に青少年交換/ロータリークラブの理解を深めてもらえる企画、運営を行う。
- 3) 参加クラブに対してクラブ、カウンセラー、ホストファミリーの役割に対するの理解を深めてもらえるオリエンテーション作りを行う。
- 4) ROTEXの組織作り、運営に着手する。

2. 活動計画

- 1) 派遣候補生、受入学生オリエンテーションを実施（年12回程度）
- 2) 参加クラブ、カウンセラー、ホストファミリー向けのオリエンテーションを実施
- 3) 受入学生歓迎会、派遣候補生壮行会、帰国報告会を実施
- 4) 秋季、冬季、春季にROTEX、派遣候補生、受入学生を対象に研修を実施
- 5) 第2500地区との交流を実施（年3回程度）
- 6) オリエンテーションにROTEX参加を促し実体験報告、各行事への参加協力をしてもらう。
- 7) 派遣候補生、受入学生、ROTEXが参加し奉仕活動を実施（さっぽろ雪まつり、幼稚園慰問など）
- 8) 必要に応じて地区内高校へのプログラム/事業説明を行う。
- 9) ROTEXの組織化を図り、実体のあるROTEX活動の構築を行う。



委員長
松永英樹
(室蘭東RC)

地区インターアクト委員会

1. 活動方針

- 1) 地区委員会の大きなプログラムである海外研修と年次大会を充実したものにするべく検討する。
- 2) インターアクトクラブおよびクラブの所属する高等学校にロータリークラブの奉仕の精神を理解したうえで活動してもらう。
- 3) 地区内にインターアクトクラブの情報を発信し、提唱クラブ以外のクラブにもインターアクトクラブを理解してもらい活動に協力してもらう。
- 4) 新しいインターアクトクラブの設立に向け情報収集と情報提供をする。

2. 活動計画

- 1) 年次大会の開催（2020年6月予定）
ホスト：札幌山の手高等学校 提唱クラブ：札幌北ロータリークラブ
- 2) 研修旅行の実施（2019年8月3日～7日予定 4泊5日 台湾）
- 3) 地区大会参加の奨励（並行プログラム等）
- 4) 年4回の地区委員会の開催
- 5) インターアクトクラブ間の情報交換・交流の推進
- 6) インターアクト卒業後のロータリーアクトクラブ入会促進およびロータリーアクトと共同例会の計画
- 7) 学友委員会への協力
- 8) 新規インターアクトクラブの設立支援



委員長

川下 和光

(札幌南RC)

ローターアクト委員会

1. 活動方針

- 1) ローターアクトの自主性を尊重し、支援サポートに努める。
- 2) 地区ホームページ及びSNS等活用し、ローターアクトの活動を積極的に掲載していく。
- 3) 新たなローターアクトクラブ設立及び現存するローターアクトクラブ会員増強を促すため、地区内ロータリークラブに情報を提供する。

2. 活動計画

- 1) ローターアクト学友会の発足式を実施する。
- 2) 第33回全国ローターアクト研修会実行委員会と情報の共有を行い連携強化し地区内外へPR活動を行う。
- 3) 地区内ロータリアン全員を対象とした第33回全国ローターアクト研修会協賛金支援をお願いする。
- 4) 新たなローターアクトクラブ設立に向けて様々な情報収集・提供を行う。
- 5) 引き続き現存クラブの会員増強及び活動支援等サポートを行う。



委員長

熊澤 隆樹

(小樽RC・PG)

ロータリー財団委員会

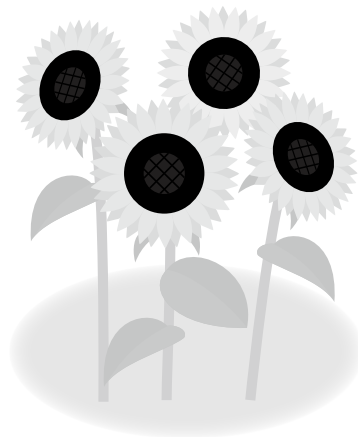
1. 活動方針

地区ロータリー財団委員会（DRFC）は、地区の財団補助金及び寄付推進に参加するように、ロータリアンの教育・意欲喚起・啓発をすすめて参ります。

委員会は、ロータリー財団とロータリアンをつなぐ連絡係として、当地区の約半数のクラブが一度も財団の資金を利用していないことを改善し、特に19人未満の小規模クラブの財団プロジェクトへの参加と、同時に寄付の増額を促します。そのために、これまでに行われてきた種々のプログラムを紹介します。

2. 活動計画

- 1) 財団委員会および関連委員会の開催は少なくとも2か月毎に開催し、要請に応じて各委員会に財団委員長が参加する。
- 2) 財団関連委員会と協力して、各クラブで行われる財団プログラムの実施に協力して参ります。
- 3) 必要に応じて関連委員会を開催します。
- 4) 学友委員会と協力して、学友の積極的な財団プログラムへの参加とロータリークラブへの入会を推進します。
- 5) クラブの要請があれば、各クラブへの卓話に財団委員会委員が出講致します。
- 6) 国際奉仕への関心を深め奉仕活動への参加を推進します。





委員長
澁谷 良治
(札幌真駒内RC)

地区財団補助金委員会

1. 活動方針

- 1) 地区の方針に基づき前年度に決めたルール、優先度を基本に活動をします。
- 2) 今年度は2017-18年度の未配分のDDF20%の半額が追加されます。(上限額112,857ドル)
- 3) 申請プログラム数の増加を見込まれるのでクラブへの配分枠を昨年度より増額します。(2018-19年度 41クラブ→45クラブを計画)
- 4) 地区補助金の支払いは8月末までに実施する。

2. 活動計画

- 1) ルール
 - ①1クラブ1プロジェクトの申請とする。
 - ②クラブへの配分は3年前の年次寄附金の1/4(25%)を上限額とする。
 - ③19人以下の小規模クラブで年次寄附金の1/4が10万円を下回る場合は補助金を10万円とする。
 - ④最高額 40万円とする。
 - ⑤申請締切り 2019年5月31日
 - ⑥申請時の提出書類(補助金プログラム、補助金振込先口座、見積書)
- 2) 優先度
 - ①障害者支援
 - ②児童養護施設支援
 - ③人道事業(国内、国外)
 - ④奨学金(他基金との重複は不可)
 - ⑤環境保全事業
 - ⑥海外(国内)文化事業
 - ⑦新世代関連事業

3) 組織

役割	氏名	所属クラブ
委員長	澁谷 良治(3年目)	札幌真駒内RC
副委員長	関根 悟(2年目)	千歳セントラルRC
委員	小幡 直樹(1年目)	苫小牧東RC
委員	上野 英一	岩見沢RC
委員	天内 和幸	札幌モーニングRC
委員	川村 忠(1年目)	札幌西RC



委員長
島 義 慈
(当別RC)

地区財団資金推進委員会

1. 活動方針

本年度RI年次目標の優先事項の目標達成の為、財団への寄付の増進を図るため財団委員長と連絡を密にし地区財団活動資金(DDF)を十分に活用してもらえ様、補助金委員会とも連絡を密にしてロータリー財団への寄付の増進と地区目標額達成のため努力してまいります。

財団への寄付がロータリーの活動にどのように活かされているかを理解して頂き、支援の増進に努めたいと考えています。

特に各クラブの社会奉仕活動の補助金にもなりますので全クラブが応募申請して頂ければと願っています。

2. 活動計画

- 1) ポリオプラス寄付を推進する。
- 2) 大口寄付者 ポール・ハリス・ソサエティを推進する。
- 3) 一人150ドルの寄付を推進する。
- 4) 財団ポイント利用による寄付推進を図る。
- 5) 年次寄付金及び恒久基金を皆様に理解して頂けるよう出来る限り各クラブを訪問したいと考えております。



委員長

伊藤 利道

(札幌南RC)

ポリオプラス委員会

1. 活動方針

- 1) ローターリーが行ってきたポリオ撲滅活動を引き続き推進する。日本においてポリオ撲滅活動を行う意義を会員・地域社会に発信する。
- 2) ポリオ撲滅に対してグループやクラブが地域社会等との連携や協力を図り、募金活動やイベント活動を積極的におこなう事を推奨しサポートしていく。
- 3) ポリオ撲滅活動を通してロータリーの公共イメージの向上を図る。

2. 活動計画

- 1) 会員一人30ドルのロータリー財団ポリオ撲滅寄付目標について、会員の理解と協力を促進すると共に、年間1500ドル以上の寄付によりクラブ表彰を受ける事を広報し、地区目標達成に努力する。(会員1人30ドル達成のクラブに対してポリオ委員会より達成記念バナーを贈呈する)
- 2) 世界のポリオ撲滅活動の近況情報を地区ホームページに掲載し、また卓話や研修などを通して地区内の理解を深めるようにしていく。
- 3) ローターアクトと連携して、ポリオ撲滅活動を行う。
- 4) 地区大会にてポリオ委員会ブースを設置、ポリオ撲滅活動を更に推進していく。
- 5) グループやクラブのポリオ撲滅活動のサポートの一つとして、ポスターや各種グッズを作成し、各クラブに配布・販売する。
- 6) 地区内で行われた奉仕活動の動画や静止画を募集し、冊子やCDに記録・保存し、各クラブに配布する。
- 7) 上記の活動を遂行するためポリオ委員会を定期的を開催する。
- 8) 各クラブで世界ポリオデーなどに活用していただくポリオに関するDVを作成する。



委員長

出村 知佳子

(札幌北RC)

財団奨学金・学友委員会

1. 活動方針

国際ロータリーとロータリー財団の指針に沿って、ロータリー財団の奨学生として相応しい奨学生を海外に送り出せるよう、研修および選考のシステムを構築し、ロータリーの重点分野や世界平和を通じて活躍していける様、未来に繋いでいけるようサポートを努めていく。

更には、留学期間が終わった後も様々な支援をし、当地区での報告の機会等を頻繁に設けるようにし、地区内ロータリアンの皆様への財団奨学金の啓蒙活動にもつなげていく。

また、財団学友となった奨学生達が将来ロータリアンになって頂けるよう努めていく。

2. 活動計画

- 1) 募集選考準備
- 2) 財団への申請準備
- 3) 出発する奨学生者の壮行会準備
- 4) 候補者の募集選考・面接
- 5) 選考された候補者への説明会 (今後の予定説明・誓約書の授受等)
- 6) 壮行会準備・実施
- 7) 報告書・レポートの確認と配信
- 8) 帰国した奨学生による報告会 プレゼンテーション (財団学友会への協力)
- 9) 各クラブでの卓話や地区行事での財団奨学金についての広報活動



委員長
青木貞康
(札幌はまなすRC)

地区米山記念奨学・学友委員会

1. 活動方針

- 1) 米山記念奨学事業へのご理解・ご協力を推進します。
 - ・事業の目的の周知徹底
 - ・年間寄付目標：16,000円（普通寄付：4,000円 個人寄付：12,000円）
上記目標の為、各クラブ、各会員へのご協力の依頼
- 2) 米山学友会の運営や活動をサポートし、事業に対して委員の積極的に参加し米山学友会、米山奨学生、ロータリアンとの交流を深める支援をしていきます。

2. 活動計画

- 1) 各クラブ、事業等で米山奨学生。米山学友の卓話を実施します。
- 2) 昨年より取り入れたサブ世話クラブ制度を実施。
 - ・世話クラブごとにサブ世話クラブを設け、主に奨学生の夏休み・冬休みの期間に年2回程度サブ世話クラブに赴き、卓話や交流活動を行う。
 - ・原則的に奨学生は単独でサブ世話クラブを訪問し卓話交流を行います。
 - ・サブ世話クラブは、世話クラブの受入れが困難な遠隔地のクラブとします。
 - ・奨学生の交通費の一部として各サブ世話クラブに年間5,000円を助成します。
- 3) 地区大会へ米山学友・米山奨学生の多くの参加を支援します。
- 4) 米山学友も含めた米山奨学生間の交流とカウンセラー研修を兼ねた一泊研修旅行を企画し、ロータリーへの理解を深める大きな機会とします。
- 5) 上記研修には出来るだけ世話クラブ等奨学生の受入れが困難な地域で行い、その地域のグループとの交流を図ります。
- 6) 上記目標達成のため年5回程度の委員会を開催します。

2022-2023年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 福田 武 男
地区ガバナー指名委員会 委員長 武 部 實

2022-2023年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、2019年12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(様式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件につきましては、国際ロータリー細則第16条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第14条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区ガバナー指名委員会規定
(2005-2006年度地区大会決議第10号)

ガバナー公式訪問報告

紙面の都合ならびに原稿の到着日により掲載が前後する場合がございますので、ご了承ください。

深川・妹背牛ロータリークラブ 7/9 火

深川RC・妹背牛RC合同ガバナー公式訪問が7月9日プラザ富士屋にて福田武男ガバナーと加藤隆一第1グループガバナー補佐をお迎えして開催されました。午前10時より深川RC会長・幹事会、10時45分より妹背牛RC会長・幹事会、11時30分より深川RC、妹背牛RC合同クラブ協議会、11時30分より両クラブ合同クラブ協議会を開き、各クラブ委員長より今年度の活動方針・計画を発表し、福田ガバナーから講評とクラブ運営について丁寧にアドバイスを頂きました。12時30分から始まった合同例会の中で福田ガバナーより今年度のRIと地区目標を詳しくお話し頂き、会員増強や衛星クラブの設立の提案、職業奉仕の考え方など広範囲に及んで提言を頂きました。例会終了後、福田ガバナー、加藤ガバナー補佐を囲んで記念撮影をし、地区大会での再会を約束し次の訪問地留萌市へ向かわれました。

福田ガバナーにはご多用の中の公式訪問に感謝申し上げるとともに健康に留意されてご活躍下さいますようお願い申し上げます。ありがとうございました。



留萌ロータリークラブ 7/10 水

7月10日、福田武男ガバナー・加藤隆一第1グループガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問を開催させて頂きました。午前10時より会長・幹事懇談会が行われ、当クラブ福士会長よりクラブの現状報告を行い、福田ガバナーより現状に対する考えや対応策ならびに期待する解決策のお話を伺いました。引き続き11時よりクラブ協議会を開催し、各委員長より活動方針・活動計画を発表させて頂きました。福田ガバナーよりガバナー月信を充実するよう努力しているので、例会での情報提供等々で役立てて下さい、とお話があり今後活用させて頂きたいと思えます。

12時15分より点鐘と共に第2831回目の例会が開催されました。福士会長の挨拶に続き、新しくロータリアンとなりました2名の新入会員に福田ガバナーよりロータリーバッジを胸元に着けて頂きました。2名の新入会員にとっては素晴らしい思い出になることでしょう。

昼食をはさみ福田ガバナーの講話からは、地区大会・新会員合宿セミナー・ガバナー月信の活用について。また、会員増強に関しては衛星クラブについての説明を頂き、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。例会終了後はガバナー、ガバナー補佐と共に記念撮影を行い、ガバナー公式訪問を終了いたしました。

余談ではありますが、留萌の夏の一大イベント「るもい呑涛まつり 行灯行列」に福田ガバナー・加藤ガバナー補佐が駆けつけていただけるとお聞きし、会員一同大変楽しみにしております。

福田ガバナー・加藤ガバナー補佐、ご来留頂き本当にありがとうございました。そして、大変ご苦勞様でした。



羽幌ロータリークラブ

7/11 木

7/11(木)、福田武男ガバナーをお迎えして、本年度ガバナー公式訪問例会が開催されました。例会に先立ち、午前10時から、ガバナー、加藤隆一第1Gガバナー補佐、当クラブ会長・幹事・会長エレクトの5名により会長・幹事会を開催、小川原会長よりクラブの沿革・活動状況等をご説明致しました。その後、ガバナーより会員増強についてのお話(衛星クラブ等)を頂き、興味深くお伺いしました。引き続き11時より当クラブ役員・各委員会委員長を交えてのクラブ協議会では、各委員長より委員会活動についてご説明させて頂きました。



12時15分より本年度当クラブ2回目の例会をガバナーご同席で開会、昼食後、ご講話を頂戴致しました。一日を通してガバナーから、会員増強に関するマローニーRI会長のお考え、2世会員の入会等を含めた増強にまつわる問題解決の方法(ロータリークラブに移行の目的を持たない衛星クラブの存在等)、米山記念奨学会普通寄付金の適切な見直しといったお話や、ガバナー月信購読者拡大のご要望等お伺いしました。

最後に、ガバナーにおかれましては、早朝より3時間余りにわたり各会議にご同席を賜り、貴重なお話と意見交換の場を頂いたことに衷心より感謝を申し上げ、本年度ガバナー公式訪問のご報告とさせていただきます。

栗沢ロータリークラブ

7/17 水

7月17日(水)に福田武男ガバナー、第3グループ伊澤珠樹ガバナー補佐、坂口堅一ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問が開催されました。

午前10時から会長・幹事会、午前11時からクラブ協議会が行われ、当クラブより前田寛会長、金山英昭幹事からクラブの現状をはじめ、各委員長から特徴的な活動内容の報告をしました。また、当クラブの今年度スローガンである「奉仕の精神を深めよう」の表現について福田ガバナーからお褒めの言葉を頂きました。

岩見沢・岩見沢東RCとの共同で行っているポリオ根絶活動では、岩見沢市で9月に開催される百餅まつり会場の世界一の大白と杵のステージからポリオ根絶募金活動を行っていることについて感嘆され、ガバナー月信に掲載したいと福田ガバナーよりお話を頂きました。

例会では、ご持参いただいたロータリー100周年記念の鐘を点鐘し、福田ガバナーよりご挨拶を兼ねた卓話を頂きました。今抱えている国際ロータリーの動向など、規程審議会の内容や地区大会への参加要請など、楽しくかつ有意義な公式訪問となりました。最後に、福田ガバナーを囲んで記念撮影し、互いの信頼と絆を深めることができました。

この度、クラブ訪問頂きました福田ガバナーには、向こう1年のガバナー活動が有意義となりますようご祈念申し上げるとともにご来訪頂きましたことに感謝申し上げます。



新会員のご紹介

(敬称略)

第1グループ



留萌RC
桜元 克則
7月2日入会
一般電気工事業



留萌RC
山内 和則
7月2日入会
信用金庫

第3グループ



岩見沢RC
鎌田 勇
7月18日入会
身体障害者福祉



岩見沢RC
早坂 亮二
7月4日入会
菓子製造

第4グループ



岩見沢RC
大塚 義紀
7月11日入会
労災病院



札幌北RC
小坂 寛
7月1日入会
ホテル



札幌モーニングRC
大泉 清
7月3日入会
歯科医



札幌モーニングRC
齋藤 正啓
7月3日入会
建築工事

第7グループ



札幌モーニングRC
伊東 祐一
7月10日入会
建築コンサルタント



千歳RC
飯盛 雅仁
7月11日入会
信用金庫



千歳RC
草刈 奈津樹
7月11日入会
美容業



千歳RC
杉本 裕子
7月11日入会
美容業

第9グループ



千歳RC
竹原 正年
7月11日入会
不動産売買



千歳セントラルRC
本村 信人
7月2日入会
産業廃棄物処理場



室蘭北RC
広瀬 勲
7月2日入会
生命保険業

第12グループ



苫小牧東RC
高橋 多華夫
7月1日入会
石炭揚運炭



『ロータリーの本』

地区文献資料室委員長

石川 信行

(札幌手稲RC)

先日開催されたRLI研修に参加した際にディスカッションテーマのひとつに「あなたが中学生にロータリークラブを説明するとしたらどのように説明するか」というのがありました。私自身が平易な言葉でロータリーを語れないことに愕然としましたが、それはまだまだロータリーの本質がわかっていないからなのかもしれません。

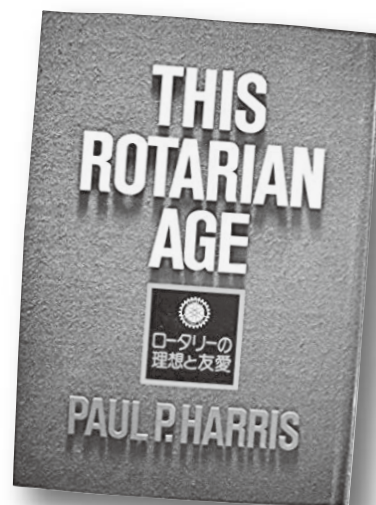
本質を知るためにはまず創始者の想いに触れる、といえは少し大袈裟ですが今回はロータリーの創始者ポール・ハリスの著書“*This Rotarian Age*”をご紹介します。本著は日本ロータリーの創設者米山梅吉氏が「ロータリーの理想と友愛」と題して日本語訳しています。本著の刊行は1935年で1905年のロータリー創設からちょうど30年が経過した時期になります。この時点でロータリークラブは会員数15万人、国数76カ国という記録が残っております。創設から5年の時点では国はアメリカのみで、会員数も1000人程度でしたのでまさに燎原の火のごとくロータリーが全世界に広がっていた時期だと思われれます。拡大の過程での様々な葛藤もあったようで、第9章では「伸び行く悩み」という章を設け、ロータリーの国際化がいかに進んだかも記述されています。

私自身が興味深く感じたのはポール・ハリスが本著でまず人類を語り、それから宗教を語り、その後にロータリーを語り始めていることです。ロータリーは宗教とは違うわけですが、あえてその視点を入れ

ることで、ロータリー運動の奥深さを知ることができたような気がします。

本著について訳者の米山梅吉氏が「原作に忠実なことを期し、直訳を主」と述べていますが、そのせいもあり、決して読みやすいわけではありません。私自身も全てにおいて理解しながら読んだかと言えば甚だ怪しいところですが、ポール・ハリスのロータリーにかける想いは感じることができました。

本著は残念ながらロータリー文庫での電子化はされていませんが、地区文献資料室に所蔵されています。名著ということで都度復刻版が刊行されており、直近は平成19年に第6版として復刻されています。貸出可能ですので、ぜひお読みいただき、ロータリー創設の息吹を感じていただければと思います。



ポール・ハリス 著
米山梅吉 訳

2019年7月から、第2地域ロータリーコーディネーターを担当することになりましたRID2750、2015-16年度ガバナーの水野功です。どうぞよろしくお願い致します。最初に第2地域のコーディネーター補佐3名の方をご紹介します。

劔田廣喜氏(RID2630 2016-17年度ガバナー、ニックネームKEN)

神野重行氏(RID2760 2017-18年度ガバナー、ニックネームSHIGE)

松坂順一氏(RID2580 2018-19年度ガバナー、ニックネームJUN)の3名の方々です。

各地区の様々なセミナーやグループでのIMなど、会員増強・維持、クラブ基盤の強化など、幅広いテーマの講師として、出来る限りのサポートをさせていただき所存ですので、お気軽にお声がけをお願い致します。また、各地区での新クラブや衛星クラブの拡大やローターアクトの活躍などの情報を共有させていただきたく存じます。日本事務局とも十分に連携して、これらの情報発信を強化したいと思っております。

些か、旧聞になりますが、3月の地域リーダー研修では、マローニー会長から「共につながり、共に成長しよう」との力強いメッセージが出され、同時に地区会員増強委員長宛てに、「GROW」と書かれたブルーのバッジを手渡され、各地区のガバナーと地区会員増強委員長にお届けしました。セミナーでは是非、ご着用いただきたくお願い致します。

さて、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。時代に合ったクラブの拡大は各地区の会員増強にとって大変、実効性の高いものと考えます。2016年の規定審議会において、クラブの自由裁量権の拡大や柔軟性が認められましたが、多くの既存のクラブにとって、永年の慣行を変えるには多大な労力が必要であり、コンセンサスを取るのが難しいことが多いように感じています。例会時間や昼食の選択性など若い世代が入会しやすいクラブが必要と感じています。

クラブ拡大は、各地区の戦略計画に沿って、ガバナー、エレクト、ノミニーが連携して、計画を立てる必要があります。単年度では難しいと考えます。マローニー会長は、既存のクラブが存在する地域にあっても、時代に合った新クラブの創設が必要であると強調されています。是非、クラブ拡大や衛星クラブの創設を考慮いただきたく思います。

また、「ロータリーの友」11月号に100周年実行委員会が実施したアンケート結果が掲載されましたが、その中で最も印象的であったのは、各クラブとも会員増強・維持あるいはクラブ運営の問題意識は高いが、どのクラブもリーダーシップが課題であると指摘されていたことです。同年8月号に、会員増強の成功例として大宮西RCの取り組みが掲載されていますが、強力なリーダーシップが会員増強には何より不可欠である具体例が示されています。各地区・クラブに置かれては会長、会員増強委員長が強いリーダーシップを発揮され、実り多き年度となりますことを期待しております。

第2地域ロータリーコーディネーター 水野 功

ロータリーファミリー全員によるファンドレイジングー『ワールド・フード+ふれ愛フェスタ』(WFF)

当地区では毎年名古屋市中心部の公園でファンドレイジングのイベントを開催しています。第6回は昨年10月27日と28日の2日間。好天に恵まれ、約7万人の来場者で盛り上がる中、協賛チケット、広告協賛、会場での寄付金などすべて前年度を上回り過去最高を記録しました。収益金は毎回ポリオ根絶への寄付とアジアの子供たちへの支援事業に使われており、今回はポリオ根絶基金への寄付(2万ドル)に加えパキスタンでの教育支援(3万ドル)を行いました。

地区内のロータリアンのほかインターアクター、ローターアクターや米山奨学生をはじめすべてのロータリーファミリー全員が協力するお祭りで、会場内に多数仕込まれた「あと少し」の広報パネルとともに「ロータリーの認知度&公共イメージの向上」という大きな役割も果たしています。

特に昨年は『ポリオ根絶大使』のジュディ・オングさんにもご参加いただいてポリオ根絶活動について熱弁を振るっていただくとともに募金活動に参加いただきました。またジュディさんを招いてのチャリティディナー『エンドポリオナイト』ではパキスタン、フィリピン、インドネシアから集まったロータリアンたちを含め200名を超える出席者たちから多額の寄付が集まりました。

収益金で寄贈したRotary Mobile Library Unitには図書やタブレット、LEDスクリーンその他、ポリオワクチンの保冷庫も装備されており、遠隔地での教育支援とポリオ根絶の2つの役割を担っています。5月に当地区からの有志6名がパキスタンを訪れ、4台を寄贈してきましたが、必死にポリオ根絶や人道的支援活動に取り組む現地ロータリアンたちの熱い姿と温かいもてなしに感動したそうです。

ポリオ根絶まで『あと少し』。当地区では今年度もWFFの収益金でポリオ根絶基金への寄付とパキスタンでの教育支援事業を行います。そしてWFFを通してロータリーの認知度&公共イメージの向上をめざします。

第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 加藤 陽一



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

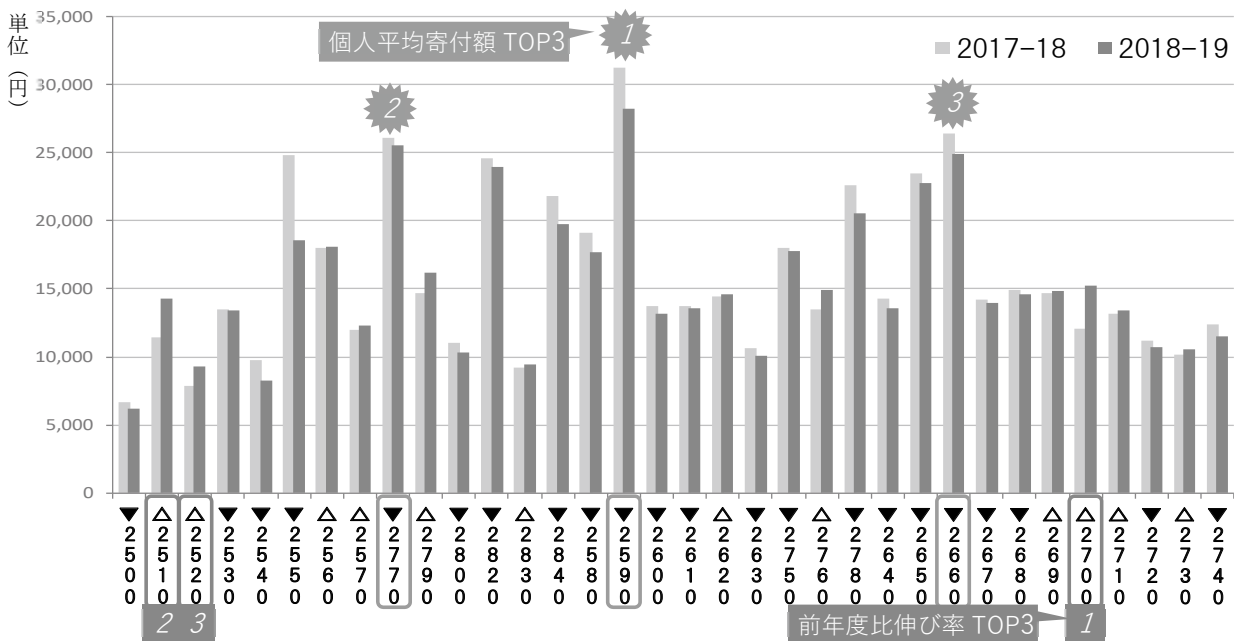
ハイライトよねやま

Vol. **232**
2019年7月12日
発行

1. 2018-19 年度寄付金結果 — 予算達成 14 億円超 —

2018-19 年度の寄付金は約 14 億 1,150 万円でした。前年度と比べて 1.6% 減（普通寄付金:0.6% 増、特別寄付金:2.5% 減）約 2,220 万円の減少となりました。当財団設立 50 周年を迎え多くのご寄付をいただいた前年度から大きく減少することなく、予算額 13 億 5 千万円を無事達成することができました。ご寄付をいただきましたロータリアン皆様のご尽力に厚く御礼申し上げます。

2019-20 年度も引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP3 全国平均：15,828 円

1 第 2590 地区：28,210 円 **2** 第 2770 地区：25,553 円 **3** 第 2660 地区：24,898 円

前年度比伸び率 TOP3

1 第 2700 地区：125.8% **2** 第 2510 地区：124.5% **3** 第 2520 地区：118.6%

2. スリランカ学友会が総会を開催

爆破事件により延期されていたスリランカ米山学友会の総会が 6 月 4 日に開催され、8 人が参加しました。創立時から会長を務め、昨年 8 月に急逝したラクナース・ガマゲさん（1993-95/宇部西 RC）のために黙祷を捧げたあと、予算や年次報告書の承認、新役員を選任が行われました。新会長はサマラシンハ、ニシャンタ・ロハンさん（2002-05/飯塚 RC）、副会長はジ

ヤヤコディ、ニーラカンティ・サマンサさん（1987-88/神戸ハーバー RC）と、バナゲ・テンナ・ゲダラ・サマンタ・クマラさん（2013-15/会津若松西 RC）、ほか幹事・会計など 8 人の役員が決定しました。同学友会では今後、ラクナース前会長の一周忌に合わせて無料医療キャンプを実施したいと計画を練っています。

3. 2019-20 年度地区米山奨学委員長セミナー

2019-20 年度地区米山奨学委員長対象の第 2 回セミナーが 6 月 20 日、都内で開催されました。『米山奨学事業 理解促進のために』と題した今回のセミナーでは、齋藤直美理事長の挨拶、水野功常務理事/選考・学務担当理事からの「委員長へ期待すること」に続いて、埼玉大学人文社会科学部教授・国際本部留学生アドバイザーの中本進一先生から「来日する留学生の新しい傾向」の講話と、第 2550 地区米山記念奨学委員長の長正英氏から、同地区での工夫



事例を発表いただきました。「大学の視点から見た留学生情報が有益だった」「具体的事例が参考になった」と、いずれも好評でした。

午後は、「奨学生の育成と危機管理」「学友会運営」「寄付増進」「指定校選定と奨学生選考」の 4 つのテーマに分かれて、グループディスカッションが行われました。各地区の課題や事例を共有しながら熱心な議論が続き、全体会議に戻ってからの質疑応答も活発でした。

参加者アンケートでは、「今回も大変勉強になった」「とても有意義なセミナーだった」との声が多かった一方、「個々の内容をもう少し深く聞きたかった」「グループディスカッションの時間をもっと長く取ってほしい」などの要望もいただきました。次回以降のセミナーに生かしてまいります。

4. 『米山梅吉ものがたり』が刊行されました

生誕 150 年/米山梅吉記念館創立 50 周年記念事業の一つとして、今月、『日本のロータリークラブ創設者 米山梅吉ものがたり ～奉仕の心で社会を拓く～』（銀の鈴社）が刊行されました。この本は「ジュニア・ノンフィクション シリーズ」の新刊で、“子ども（小学校高学年）から大人まで、みんなで読める伝記”となっています。しかし、内容はまさに本格派。著者の柴崎由紀氏が数年にわたり緻密な取材を重ね、豊富な写真や解説とともに、人間・米山梅吉



の足跡を浮き彫りにしています。

もちろん、ロータリーにおける功績やこれまであまり知られることのなかったエピソードも充実。第 16 章「没後 未来へと引き継がれる精神」では、日本最大規模の民間国際奨学事業として、当会についても紹介されています。

ご購入希望の方は、銀の鈴社オンラインストア

<http://ginsuzu.shop-pro.jp> ま

で。または、Amazon やお近くの書店でもご注文いただけます。

価格：1,800 円（税別）

5. 【訃報】評議員 坂本俊雄氏逝去

評議員の坂本俊雄氏（第 2750 地区）が 6 月 17 日にご逝去されました。享年 85 歳でした。

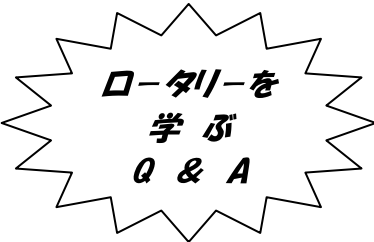
坂本氏は、2007-08 年度および 2014-15 年度の国際ロータリー第 2750 地区ガバナーを務められ、最初のガバナー、ガバナーエレクトの時の 2 年間（2006-08 年）に続き、2015 年 9

月から 4 年にわたり、当会評議員としてご奉仕くださいました。そのほか、当会専門委員会の一つ、広報委員会の委員も 2011 年から 3 年間お務めくださいました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)



ロータリーを
学ぶ
Q & A

わかりやすい職業奉仕のために

地区職業奉仕委員会 委員長 坂井 治
(千歳セントラル RC)

ガバナー月信をわかりやすく楽しいものにするという福田ガバナーのご指示により、本年度地区職業奉仕委員会では楽しく読んでいただけるようにQ&Aやクイズ形式にしようと計画しています。私を含めて委員会メンバーは6名ですので2ヶ月に1回の予定で全員が一度ずつ掲載を予定しています。

入会5年以内くらいの会員向けの内容で書いてまいります。
職業奉仕委員会の担当例会などにご利用いただくとありがたいです。



では問題です!!

ロータリーの基礎知識

Q1. ロータリークラブはいつ? どこで?
誰によって? 創立されたのでしょうか?

Q2. 国際ロータリーの誕生はいつでしょう
か? また、初代会長は誰でしょうか?

Q3. 1915年サンフランシスコ大会で
「 ① 」が採択され「 ② 」
が確立されましたか?

Q4. RIから職業奉仕委員会が消えてしま
いました。それは何年だったのでしょうか?

Q5. RIに職業奉仕委員会が復活いたしま
した。何年のブランクののち何年でしょう
か?

手続き要覧

冒頭に書かれてる文章です。
空欄を埋めてください。

ロータリーは、基本的には、一つの
(①) であり、それは利己的な欲求と
義務およびこれに伴う他人のために
(②) したいという感情とのあいだに
常に存在する矛盾を和らげようとするもの
である。

この(③)は奉仕一(④)であり、
これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報
いられる」という(⑤)な倫理原則に
基づくものである。



答え

Q1 1905年2月23日 シカゴで ポール・ハリスの呼びかけで創立。初代会長はシルバスター・シール

Q2 1910年 初代会長ポール・ハリス

Q3 ①ロータリー倫理訓 ②職業奉仕基準

Q4 1948年

Q5 40年のブランクののち1987年

①人生哲学 ②奉仕 ③哲学 ④超我の奉仕 ⑤実践的





1日目 2019.10.4 (金)

会場：ANAクラウンプラザホテル千歳
千歳市北栄2丁目2-1 TEL.0123-22-2311

- 13:30 会長・幹事会
- 14:50 地区指導者育成セミナー
- 18:00 RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

2日目 2019.10.5 (土)

会場：北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）
千歳市北栄2丁目2-11 TEL.0123-26-1151

- 9:00 本会議
- 10:30 スパウス
- 11:45 記念講演
- 13:50 記念懇親会（ANA クラウンプラザホテル千歳）
（終了時間は 16:30 を予定しております。）

登録料

<input type="checkbox"/> 会 員	15,000 円
<input type="checkbox"/> ご 家 族	10,000 円
<input type="checkbox"/> 青少年・学友	5,000 円
<input type="checkbox"/> RI 会長代理歓迎晩餐会	12,000 円

▶ 記念パークゴルフ大会 2019.9.28 (土) 11:00 ~

登録料 4,000 円（プレー代、懇親会費込み）
恵庭花夢里パークゴルフコース TEL.0123-35-3112

▶ 記念ゴルフ大会 2019.10.4 (金) 7:00 ~

登録料 5,000 円
シャムロックカントリー倶楽部 TEL.0123-22-2111

▶ スパウス 2019.10.5 (土) 10:30 ~

- ～千歳散歩～
- ・サケのふるさと 千歳水族館
- ・キリンビール北海道千歳工場

2019～2020年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会事務局

〒066-0047 千歳市本町2丁目28-2
TEL.080-3293-7731/FAX.0123-29-7731
E-mail rid2510chikutaikai.2019.2020@gmail.com

◆コ・ホストクラブ：千歳セントラルロータリークラブ・恵庭ロータリークラブ・北広島ロータリークラブ・長沼ロータリークラブ・由仁ロータリークラブ

**地区大会
記念ゴルフ大会
パークゴルフ大会
会場案内図**





2019-2020年度国際ロータリー第2510地区

新会員合宿セミナーin 丸駒

『ロータリー活動の原点は親睦！！』
～仲間意識から生まれる社会貢献奉仕活動～



- 【開催日】 2019年11月16日(土)・17日(日)
 【場所】 丸駒温泉旅館 千歳市幌美内7 Tel0123-25-2341
 【登録料】 15000円(1泊2食付)

参加対象者 (入会5年未満の会員またはロータリーを語りたい方)

ロータリークラブの目的は何でしょう? 職業奉仕・社会貢献奉仕活動など様々な事項がありますが、その目的を個々に達成するには会員同士の親睦が原点ではないでしょうか? 相手とひざを交え、酒を酌み交わし、異業種同士がお互いを知りあうことにより仲間意識が高まり、目的が達成されるはずで。

今回、日本秘湯を守る会会員の支笏湖・丸駒温泉を貸切り、講師に元パシフィック野球連盟公式審判員山崎夏生氏、千歳フィルハーモニーオーケストラコンサートマスター野村聡氏を迎え、普段聞けないロータリーにつながる貴重な話をさせていただく予定です。このセミナーではお互いの気持ちや、お互いの悩みなど打ち解けあい、親睦の必要性を意識していただくことにより、各事業の成功や会員拡大の必要性なども感じていただき、今後のロータリー活動への一助となるようにしたいと考えております。



【研修日程】

【研修日程1日目】

- 13:30 チェックイン・登録受付
 14:00 合宿セミナー開会 ガバナー 福田 武男
 14:15 [ロータリーとは] パストガバナー 佐藤 秀雄
 14:40 班ごとにルームに入り目標設定(リーダー選出)
 15:20 基調講演第一部 山崎 夏生 氏
 元パシフィック野球連盟公式審判員 **演題**「プロ野球審判 ジャッジの裏舞台」
 16:50 各班にて分科会と自由時間(温泉)
 18:30 懇親会
 20:00 中締め
 20:10 基調講演第二部 野村 聡 氏
 千歳フィルハーモニーオーケストラコンサートマスター **演題**「音楽の力」
 21:00 各部屋に戻りディスカッション、各班ごとに自由行動(時間無制限)



【研修日程2日目】

- 07:00~8:30 朝食
 09:00 2日目開会、グループ研修発表
 10:30 講評・総括
 11:00~ 閉会の挨拶、解散

尚、講師の方は宿泊しますので
 講演では聞けなかった裏話など
 自由に聞いて下さい!

地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間	
1(木)	公式訪問(小樽銭函RC)
2(金)	公式訪問(苫小牧RC)
3(土)	
4(日)	
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	伊達RC創立60周年記念講演会
11(日)	山の日
12(月・祝)	振替休日
13(火)	
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	RLIセミナー パートⅢ
18(日)	
19(月)	公式訪問(札幌南RC)
20(火)	公式訪問(伊達RC・室蘭北RC)
21(水)	公式訪問(室蘭東RC・洞爺湖RC)
22(木)	公式訪問(室蘭RC・登別RC)
23(金)	
24(土)	
25(日)	
26(月)	公式訪問(函館亀田RC)
27(火)	公式訪問(函館セントラルRC・長万部RC)
28(水)	
29(木)	公式訪問(芦別RC)
30(金)	公式訪問(札幌幌南RC) ～31日(土) 親睦野球大会(岩見沢)
31(土)	

9月 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間	
1(日)	
2(月)	～3日(月) 第1回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 公式訪問(札幌北RC)
3(火)	公式訪問(赤平RC)
4(水)	2020-21年度地区研修リーダーセミナー(東京)
5(木)	公式訪問(滝川RC)
6(金)	公式訪問(札幌ライラックRC)
7(土)	公式訪問(札幌手稲RC)
8(日)	
9(月)	公式訪問(三石RC)
10(火)	公式訪問(浦河RC・様似RC)
11(水)	
12(木)	公式訪問(江別RC)
13(金)	公式訪問(小樽南RC)
14(土)	函館五稜郭RC創立50周年記念式典
15(日)	
16(月・祝)	敬老の日
17(火)	公式訪問(函館東RC)
18(水)	公式訪問(函館北RC)
19(木)	公式訪問(函館RC)
20(金)	公式訪問(函館五稜郭RC)
21(土)	
22(日)	
23(月・祝)	秋分の日
24(火)	公式訪問(札幌西RC)
25(水)	公式訪問(札幌RC)
26(木)	公式訪問(札幌東)
27(金)	
28(土)	地区大会記念パークゴルフ大会(恵庭) 第47回ローターアクト地区協議会(赤平)
29(日)	
30(月)	

2019年8月のロータリーレート

1ドル 108円

「一切の生活を 奉仕の理想の中に…」

ロータリーの根本精神は「奉仕の理想」にある。従って、この奉仕の理想は吾々の一切の生活の中に顕現されていなければならぬ。も少し徹底的に言えば、一切の生活の中に「奉仕の理想」が適用されると云うよりも、一切の生活が「奉仕の理想」の中に没入している姿が最も理想的である。カゴに水を入れようとするからなかなか難しい。水の中にカゴを入れれば良いのである。「奉仕の理想」の中に個人生活も社会生活も没入すればよい。そうすれば職業も営利のみに走り終わることもあり得ないのである。事業は営利を離れて成立しないと同時に、社会の福祉を無視、否定したのでは意義をなさない。この営利と福祉のマッチする所に事業の真使命がある。



ポール・ハリス語録

ロータリーとは何ですか？ ロータリーとは何でしょうか？

多くの国のロータリアンはこぞって答えます。しかし、同じ答えは一つもありません。共通点の一つもないのでしょうか？ あります。一つあります。

それは大きなオルガンの低い雑音のような物です。

ロータリーの多種多様な活動の下に、変わらぬ基調があります。善意、善意、善意という基調です。この39周年に、私は、人類間、国家間の善意の絶えざる推進を希望します。これ以上高い希望をもっていませんし、知りもしません。

ロータリー39周年でのメッセージ



ロータリーは
世界をつなぐ



第1グループ
留萌ロータリークラブ



第1グループ
羽幌ロータリークラブ



第1グループ
深川・妹背牛ロータリークラブ



第7グループ
千歳ロータリークラブ



第7グループ
千歳セントラル
ロータリークラブ

